



# 下末吉だより

令和5年8月31日

9月号

横浜市立下末吉小学校

下小におかえりなさい。

校長 江口 和良

この夏の危険な暑さの中、子ども達は健康な毎日を過ごしていたでしょうか。夏休みが終わり、久しぶりに子ども達の変わらぬ笑顔や明るい挨拶の声に接し、何か安心した気持ちに包まれ、「下小におかえりなさい。」と声をかけたい気持ちになりました。

一人ひとりに夏休みの思い出があると思いますが、ここでは夏休み前半に子ども達が地域の皆様とつくった思い出について紹介したいと思います。

夏休み初日、7月21日の午前中、市場小けやき分校のプールで、豊岡小・末吉小・下末吉小・市場小の5、6年生の希望者による水泳交流会が行われました。4校合わせて約70名(下末吉小からは10名)の子ども達がタイムチャレンジや距離チャレンジ、各種リレー競技への参加を通して、他校との交流を深めました。



水泳交流会に続き7月21,22日の夕方には下末吉地区納涼盆踊り大会が盛大に開催されました。下小の校庭にあんなにたくさんの方が集まったのは初めて見ました。昨年度の下小創立70周年記念につくった「下小音頭」が流れると、下小の子だけでなくたくさんのお子さんや大人が踊りの輪に加わって、一緒に踊ってくださっていました。「下小音頭」がこの先もずっと踊り継がれていくといいな、と思いました。5年生と6年生もゲームブースを出店しました。どのゲームも趣向を凝らした内容で、お客さんにゲームを楽しんでもらおうと、一生懸命にお世話する5、6年生がとても頼もしく見えました。

8月5、6日には愛宕神社の祭礼が開催されました。5日は子供神輿と山車(だし)が町内に登場しました。晴れてとても暑い日でしたが、子ども会や地域の方々が、子ども達に常に水やミストシャワーを掛けてくださったので、あまり暑さを感じることなく神輿をかついで町を練り歩くことができました。

6日朝には愛宕神社で神事が執り行われた後、大人の神輿が出て町を練り歩きました。大人神輿のかつぎ手には下小の卒業生もいて、「下小の子ども達は、こうやって町の中で育っていくのだなあ。」と、子ども達と地域の皆様とのつながりを改めて感じさせていただきました。

